

生産者HPより

1925年に、当ワイナリーを開業したのは、祖父アマディオ。アマディオはブドウ栽培を始め、高品質なワインを造るのに必要不可欠な条件である《自社畑から収穫されたブドウを用いた醸造》を行った。これらのワインは当時、小樽に詰めて馬で運ばれ、ヴェローナやヴィチエンツァ、パドヴァなどの街の素晴らしいオステリアに売られていた。父ジーンは叔父ジーゼとともにワインを造り、イタリア各地と海外での評価を高めつつ、祖父がはじめたワイナリーの知名度を広げていった。1966年にアマディオ・フランコ、1971年にナタリーノの参加にも助けられ、祖父から授けられた経験を礎として、現在に至る成長がある。

私たちは、1980年にビオロジック農法による栽培を実験的に導入した。1986年にはビオロジック農法をすべての畑に導入し、1990年にはA.I.A.B.から認証を受けるに至った。私たちの所有するブドウ畑は、コロニョーラ・アイ・コッリ・エ・イッラージの《イッラージ谷サン・ゼノ地区》で、標高の低い部分にある。この地域は、粘土質土壌と小石交じりの砂質の土壌という構成と、優れたミクロ気候を有するため、伝統的にブドウの栽培が行われてきた。広く開けた日当たりのよい谷間は、北部をレッシーニの山々に守られている。現在のところ、7区画に合計14ヘクタールのブドウ畑を所有する。土壌の性質はそれぞれ異なり、各土壌に最適なブドウ品種を選んで栽培。粘土質土壌の畑には昔ながらの方法で、ソアーヴェの生産に用いられる樹齢30~40年のガルガーネガが栽培されている。1978年にさかのぼり、前述の小石交じりの砂質の土壌に、風とおりの良さ、葉の管理のしやすさ、果実の高い成熟度といったメリットから、ベルゴラ・コルタとコルドーネ・スペロナートという仕立てを用いて、メルロ/シャルドネ/ピノ・ネーロを植樹。これにより、樽を用いた醸造や熟成にふさわしい、しっかりとした構造を持つワインを生み出すことができるようになった。畑では細部にいたるまで入念な作業をおこなう。畑での草生、堆肥の使用、低収量のためのバランスを重視した剪定、自然な製品や益虫を用いた害虫の駆除、それぞれの房にとって最高の成熟段階を迎えたとときに行うため複数回に及ぶ手摘み、など。

ビオロジックの基本的な理念を尊重し、ブドウの品質を損なわないために的確な技術を用いる。除梗、ブヌマティック・プレスを用いたやわらかい搾汁、重力に逆らわずに冷却と珪藻土を用いる濾過、発酵の温度管理、ベントナイトによる清澄など。このようにして、時が経つにつれて土地と品種の特徴を反映するとともに、薫り高さ、誠実さ、特徴ある個性を身に纏っていくワインを生み出すことが可能になった。

◎ Prosecco Frizzante "La Corte del Pozzo" プロセッコ・フリッツァンテ "ラ・コルテ・デル・ポッツォ"		備考
	畑 品種：グレーラ100% 土壌：粘土石灰質	
	畑 品種：グレーラ100% 土壌：粘土石灰質	備考 醸造 除梗後ソフトプレスし、12~15℃の温度で約10~12日間ステンレスタンクで醗酵 密閉式タンク内で約3~4か月間の二次醗酵を行う（メトード・シャルマ）
○ Soave - Borgoletto ソアーヴェ ボルゴレット		備考
	畑 品種：ガルガーネガ100% 位置：標高100m 土壌：石灰質・砂岩質	
○ Pinot Grigio delle Venezie - Pigio ピノ・グリージョ・デッレ・ヴェネツィエ ピージョ		備考
	畑 品種：ピノ・グリージョ100% 位置：平地 土壌：砂質	

白い花のように、軽やかで香り高い。繊細なタッチが心地よく、気軽に楽しめるスパークリングワイン。ガス圧は約2barと控えめにすることで、ワイン本来の味わいを十分に楽しめるようにしている。
"ラ・コルテ・デル・ポッツォ"という名前は、1900年代から彼らの井戸を水汲み場として使っていたこの地域の住人とのつながりを表している。

ジャスミンやアカシアを思わせる香り。フリッツァンテに比べてガス圧は強く、グラスワインとしても楽しめるスパークリングワイン。
"ラ・コルテ・デル・ポッツォ"という名前は、1900年代から彼らの井戸を水汲み場として使っていたこの地域の住人とのつながりを表している。

明るい黄色。フローラルかつフルーティなブーケ、塩味のあるノート、酸とボディのバランスの取れたしっかりとした体躯のある味わい。ほろ苦いアーモンドのニュアンスの余韻が残る。アペリティブとして、また魚料理やスープ、チーズとともに。
ファゾーリ・ジーンで一番多く生産している、フラッグシップともいえるワイン。

緑色を帯びた、明るいストロベリーローで、柑橘のブーケと、グレープフルーツやパイナップルを思わせるノート。しっかりとしたボディと高い酸との絶妙なバランスによってうまくとめあげられている。フルーティな余韻が心地よい。